



並木中等story

令和3年10月16日号

先を考えて行動できる！

10月15日に、延期されていたスポーツデイを開催しました。今年度は好天に恵まれ、思い切りスポーツを楽しめました。生徒の多くが全力で取組、印象に残る場面が多くありました。その中で光っていたのが審判です。競技の審判は関連する部活動に所属する生徒が行います。瞬時に判断し、試合の進行、その際、参加生徒に何か言われようと、「これはこうです。」と説明する姿が素敵でした。真剣な表情できびきびと動きが見られ、レベルの高さを感じました。

さらに、並木中等生の素晴らしさは、言われた事だけを行って終わりにするのではないところです。次に行うことを自ら考え、先に動いているのです。これは指示待ち人間ではできないことです。普段から先の動きを読む習慣と、余裕が必要だからです。並木中等の生徒はこのような行事でも“アクティブラーナーの片鱗が見えるのだなあ”と感心した一日でした。



《祝！ We Support UNICEF 賞を受賞》

本校国際教育部の有志団体が文化祭（かえで祭）において、フェアトレード等の商品を販売した収益金12,220円をユニセフ協会に寄付したところ、この賞をいただきました。本校には国際貢献に意識の高い生徒が多くいます。